

# 正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2021年4月12日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

## タイトル

# 有限要素法・要素分割の勘どころ

## 正誤対象

お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1 刷	対応刷数 1 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

## 刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。

著者略歴  
〇〇 〇〇 (●●●●・●●●●)  
1980年 ××大学大学院修士課程修了  
1980年 ××大学助手  
1990年 ××大学助教授  
2000年 ××大学教授

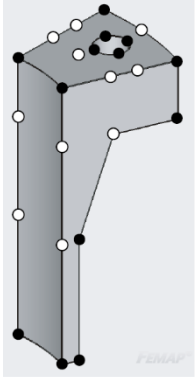
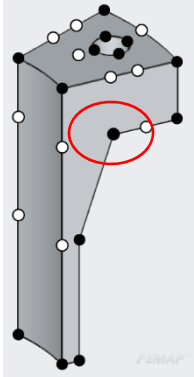
編集担当 ■■■■■ (森北出版)  
編集責任 ◆◆◆◆ (森北出版)  
紙 版 〇〇〇〇  
印 刷 ▲▲印刷  
製 本 ▼▼製本

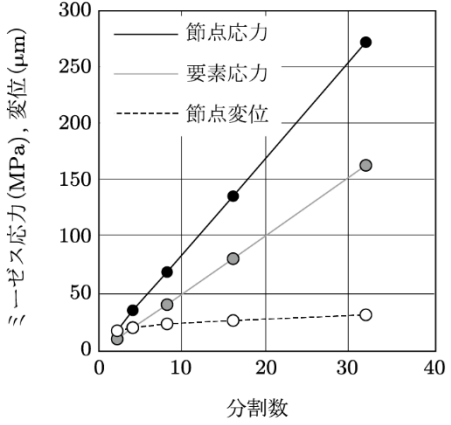
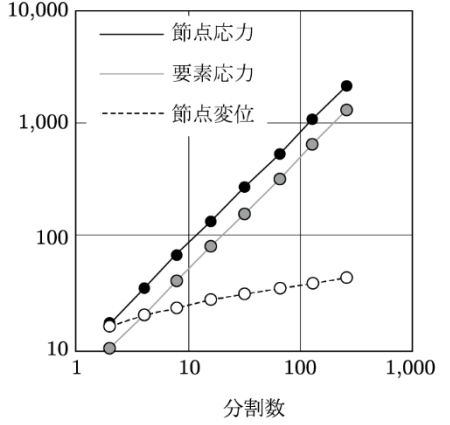
やさしく学べる△△工学 (第2版) © 〇〇 〇〇 2014  
2001年〇月〇日 第1版第1刷発行 【本書の権利転載を禁ず】  
2007年〇月〇日 第1版第〇刷発行  
2010年〇月〇日 第2版第1刷発行  
2014年〇月〇日 第2版第〇刷発行

著 者 〇〇 〇〇  
発行者 森北 博巳  
発行所 森北出版株式会社  
東京都千代田区富士見1-4-11 (〒100-0071)  
電話 03-3295-8441 / FAX 03-3294-8709  
http://www.morikita.co.jp  
日本書籍協会・自然科學者協会

※丁乱丁本はお取替えいたします。  
Printed in Japan / ISBN978-4-627-xxxx-x

日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1	ii	目次	1.2.4 一律 10 分割 7	1.2.4 一律 10 分割と標点 7
1	7	1 行目	■1.2.4 一律 10 分割	■1.2.4 一律 10 分割と標点
1	7	11 行目	厚みの変化点, 丸みの両端, 接触範囲の両端,	厚みの変化点, 丸みの両端, 90° ごとの円弧端, 接触範囲の両端,
1	7	13 行目の後	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷重の標点 : ...</li> <li>拘束の標点 : ...</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷重の標点 : ...</li> <li>(荷重は, 力, モーメント, 強制変位, 加速度, 温度, 熱などすべて)</li> <li>拘束の標点 : ...</li> </ul>
1	34	図 2.4(b)	 <p>(b) フランジ</p>	 <p>(b) フランジ</p>
1	41	下から 3~2 行目	その場合, 荷重位置の最大応力部が解析領域の端部となり, 応力外挿がうまくいきません (2.2 節の例題 1 参照). そこで...	その場合, 解析結果のコンター図が多少わかりにくく感じます. そこで...
1	66	KEYWORD 1 行目	▶2 : 1 近似半楕円鏡板 (→p.64, 66)	▶2 : 1 近似半楕円体形鏡板 (→p.64)
1	66	KEYWORD 8 行目	▶子午線方向と周方向 (→p.64, 66)	▶子午線と子午線方向 (→p.64, 66)

1	66	下から 3~2行目	…, 子午線方向 <b>応力</b> (→KEYWORD) 内外面のコンター図を示します.	…, 子午線方向 (→KEYWORD) 内外面 <b>応力</b> のコンター図を示します.
1	86	4行目の後	半分程度に粗くできます.	半分程度に粗くできます.  本書の要素分割を実際の解析問題に適用する場合, わずらわしいと感じるかもしれません. その場合は, とりあえずメッシュャーを用いて従来どおりの解析をして高応力部を見つけ, その部分の要素分割が本書の目安に適合しているか検討してください. もし適合していなければ, 少なくともその部分の要素分割をやり直してください.
1	96	1行目の前	<p>(1行目の前に以下を追加)</p> <p>図 5.9 と図 5.10 では, 特異点の性質を示すためによく使われる形式のグラフで結果を表示しました. 本書では図 1.2 で示したように横軸を分割数として検討してきましたので, 荷重点と周囲の角を標点とみなして, その間の分割数を横軸としてあらためて図 5.11 に示します. 図(a)は要素分割数が 32 までの線形表示, 図(b)は要素分割数が 256 までの解析全体の対数表示です.</p> <p>要素分割は図 5.7 に示したように荷重点近傍のみで再分割を繰り返すという変則的な分割ですが, 分割数としては標点間を最小要素寸法で等分割したと考えた見なし分割数 (表 5.1 参照) とします. 図 5.11 の横軸はその見なし分割数で, 縦軸はミーゼス応力 (MPa) と変位 (<math>\mu\text{m}</math>) の最大値です. この図からも分割を密にすると応力も変位も増大し, 適切な要素分割がないことがわかります.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a) 分割数 32 以下の線形表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b) 分割数 256 までの対数表示</p> </div> </div>	

1	96	結果のまとめ 2~3行目	これらをグラフ表示したものが図 5.9 と図 5.10 です。これらはすべてモデル内の…	これらをグラフ表示したものが図 5.9~図 5.11 です。解析結果はすべてモデル内の…									
1	96	結果のまとめ 5行目	ています。したがって、図 5.10 では直線となります。	ており、見なし分割数には比例で2倍増です。グラフは軸の表示方法でさまざまな形式となります。									
1	96	表 5.1	分割寸法と節点応力の間に右の1列を挿入。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>見なし 分割数</td></tr> <tr><td>2</td></tr> <tr><td>4</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>16</td></tr> <tr><td>32</td></tr> <tr><td>64</td></tr> <tr><td>128</td></tr> <tr><td>256</td></tr> </table>	見なし 分割数	2	4	8	16	32	64	128	256
見なし 分割数													
2													
4													
8													
16													
32													
64													
128													
256													
1	103	7行目	分割数で表すと4分割モデル、…	分割数で表すと概数で4分割モデル、…									
1	106	図 6.9											

1	114	15 行目～	<p>引張荷重は 9,000N (弾性状態) から 12,000N (弾塑性状態) までとします。この数値は対称性を考えずに総荷重で示します。 アルミの材料定数を…</p>	<p>引張荷重は 9,000N (弾性状態) から 12,000N (弾塑性状態) までとし、<b>CD</b>間に等分布で与えます。この数値は対称性を考えずに総荷重で示します。 拘束条件は<b>DJ</b>をYZ面対称拘束、<b>IJ</b>をY軸方向拘束、さらに原点<b>J</b>を剛体移動防止のために完全拘束とします。 アルミの材料定数を…</p>
1	115	図 7.4	<p>右のように修正 (座標 <math>X</math> と <math>Y</math> を追加)</p>	